

我が庭の 宮居みやゐに祭まつる
神々に 世たひの平らぎを
いのる 朝々
昭和天皇

— 昭和天皇御製

昭和五十年歌会始お題「祭り」

裏面もご覧ください。

神社は心のふるさと

未来に受け継うるわごう「美しい国ぶり」

昭和天皇

第百二十四代天皇。

在位期間 昭和元年 十二月二十五日

～昭和六十四年 一月七日

誕生 明治三十四年 四月二十九日

幼少期の称号は、迪宮(みちのみや)

諱は、裕仁(ひろひと) お印は「若竹」

崩御 昭和六十四年 一月七日

(宝算八十七歳)

陵所 武蔵野陵

(東京都八王子市長房町)

神道知識いぎなの誘いざなひ「天皇陛下のお祭り」

わが国が始まって以来、歴代天皇の最も大切なお勤めは、御親おんみづから世の平らぎをお祈りになる祭祀を執り行われることでした。そして今日に至るまで、祭りこそが天皇陛下の御位みくらひと不可分のお勤めであると申せましょう。平素より天皇陛下が、宮中三殿・神嘉殿しんかでんあるいは御陵でご齋行になっておられる恒例の祭祀は、われわれ国民ひとりひとりにとって、きわめて大切なお祭りであります。

決して天皇陛下の私的な信仰、皇室内の祭祀ではなく、常に国の発展、国民の幸福、世界の平和をお祈りになられる広い意味をもったお祭りだからです。このお祭りを連綿と今日まで行われて来られたのが、歴代天皇です。私たちの暮らしの背後には、常に天皇陛下のお祭りまつりと祈りいのりとがあります。こうしたお祭りと祈りがあればこそ、私ども国民の生活が今日のように豊かに、そして国の発展とがもたされてきたといえます。

東京都神社庁

<http://www.tokyo-jinjacho.or.jp>

